

報道関係社各位

2016年3月10日

株式会社 JSコーポレーション

大学・専門学校の注目ニュースを 様々な切り口で紹介する「今、注目の学校情報」を公開

～ JS88.com 「今、注目の学校情報」～

日本で唯一&最大規模の学校情報サイト「JS88.com」を運営する、株式会社 JS コーポレーション（本社：大阪市北区 代表取締役社長：米田英一）は、大学や専門学校の特徴のある取り組みや、施設、イベント、新設学部・学科などのニュースを紹介する「今、注目の学校情報」（<http://school.js88.com/news>）を公開いたしました。

第一弾として、大正大学の「地域創生学部」、南山大学のグローバル教育の取り組み「教育交流プログラム」、武蔵野美術大学の「グローバル人材育成プログラム」のニュースを掲載しています。

今後も継続して掲載情報を追加していくことで、高校生の進学先選択の一助となるサイトを目指します。



<掲載テーマ（予定）>

- 今、注目の周年事業
- 今、注目のオープンキャンパス
- 今、注目のスーパーグローバル大学
- 今、注目のグローバル教育
- 今、注目の職業実践専門課程
- 今、注目のアクティブラーニング
- 今、注目の就職指導・サポート
- 今、注目の施設・設備
- 今、注目の新設学部・学科
- 今、注目の新設校

- ◎ 大正大学の「地域創生学部」(http://school.js88.com/news/index?detail_no=11)
- ◎ 南山大学の「グローバル教育の取り組み「教育交流プログラム」」(http://school.js88.com/news/index?detail_no=12)
- ◎ 武蔵野美術大学の「グローバル人材育成プログラム」(http://school.js88.com/news/index?detail_no=10)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 JS コーポレーション 広報室：石橋

TEL. 06(7669)8881 / FAX. 06(7669)8882 / e-mail. press@js-corp.co.jp

http://school.js88.com/news/index?detail_no=11

今、注目の新設学部・学科

大正大学

地域創生学部

これからの地域の未来を担う人へ、大正大学だからできる、新しい学びのカタチ。いま日本に必要なのは、地域の発展を担う行動力に富んだリーダーです。

地域創生学部は、「経済学と政策を学ぶ」学部です

地域創生学部の学びの基盤は「経済学」(economics)であり、経済学的な思考をもとに「政策」(policies)を幅広く学ぶことで、理論と応用の両面から地域課題を解決へ邁進をお身につけていきます。「経済や経営」だけを学ぶわけではなく、「法や政治」だけを学ぶのではなく、どちらの分野もバランスよく効果的に学べるカリキュラム。経済学や政策学といった分野に少しも関心をもっている…そんなあなたに、地域創生学部はぴったりの学部です。
※地域創生学部の学位(修士号に併与される称号)は「学士(経済学)」です。

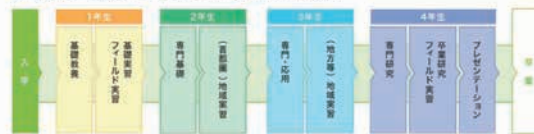


地域を愛し、地域を支え、日本の未来を構築する

地域創生学部では、現在の日本が抱える最大の社会的課題である地域問題を解決し、これからの地域を担う人材を育成します。ミッションはさまざまな地域から学生を受け入れ、地域へと回帰させること。このため、大正大学では他に類のない広域地域自治体ネットワークを構築し、地域と大学との連携の中で学生を育てる教育体制を確立しました。学生は、1年次から4年次まで各学年2ヶ月間、都市と地方の両方で地域実習に取り組みながら、都市の視点で地域活性化に貢献し、地方の視点で都市問題にアプローチできる力を習得、日本の未来を築く「地域人」をめざします。

4年間の学びの展開 (イメージ)

地域創生学部での実習は「都市」と「地方」の両面を交互に体験する構成になっています。4年間を通して、各地域の人々と接しながら社会のさまざまなあり方を学びます。



地域創生学部「2つのポイント」

●実践的な経済学を学び地域の課題に対応できるようにします。経済学の「学び」を基盤に、地域活性化に資する人材を育成します。各種データや情報の処理スキル、論理的思考を身につけ、マクロ経済の動向を理解するとともに、地域課題をミクロ的に分析できる能力の習得をめざします。

●各年次で2ヶ月間の地域実習を行います。長期間で本格的な地域実習を行うために、独自の連携自治体ネットワークを構築しました。実習中は各地域の自治体に専任教員が常駐、行政や産業、あるいは大のコミュニティなどを体験し、「生きた地域」を総合的に学びます。
※4年次は卒業研究のためのフィールドワークを行います。



地域創生学部で育成する人材イメージ

地域創生学部では、これからの地域社会で求められる「生きた政治経済」の知識を、自治体との連携を活かした「現場」の中で身につけます。ですから、大学卒業後の進路に地方公務員を考えている人、あるいは、地方自治や信用金庫など、人々の暮らしや産業に密着した地域の金融機関への就職を考えている人には、特におすすめです。それも目指すのは、従来の枠組みを超えたまさに地域創生学部だからこそ…という働き方。「経済に強い地方公務員」「政策に強い地方自治体」を目指すあなたに、地域創生学部はぴったりの学部です。



▼育成する人材イメージを以下の4つに分類して想定しています。

- コーディネーター(アイデアをとりまとめる推進する人)
地域社会の諸主体(産官学民)や多様な分野・専門家を繋いで、地域を取り巻く課題やニーズに対応する計画や連携・共同活動を創出する人材。
- エコノミスト(学んだ経済学を課題解決に向けて行動に移せる人)
地域経済の動きや問題を調査・分析・予測し、経済活動に貢献する課題の抽出、改善策の提案・発信、施策推進の支援・開拓ができる人材。
- アントレプレナー(地域の資源を活用して新産業を創る人)
地域課題やニーズを適切に捉えながら地域の特長ある資源(地域産業や観光資源等)を活用して事業創出を行える人材。
- オーガナイザー(組織内、組織間を調整し、よりよい環境を作る人)
地域社会のさまざまな人や組織・事業体を繋いで効果的な組織構築と管理運営ができる人材。

http://school.js88.com/news/index?detail_no=12

今、注目のグローバル教育

南山大学

南山大学から世界へ、そして未来へ。「国境のない学び場」の発展のために、「個の力を、世界の力に。」を具現化していきます。



上智大学・上智大学短期大学部との連携を土台とした教育交流プログラムが採択

2019年9月8日、上智大学・上智大学短期大学部と本学の3校が連携して申請した構想「人の移動と共生における課題と人間の尊厳を追求する課題解決型教育交流プログラム」が、文部科学省が公募した平成27年度「大学の世界展開力強化事業」～中南米等の大学間交流促進支援～」に採択されました。

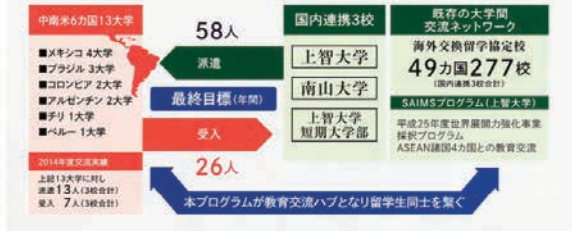
本学と上智大学、上智大学短期大学部は、ともにキリスト教カトリックの精神を基盤とし、異文化シンポジウムなどを通じた共同研究活動を行うとともに、それぞれ中南米諸国との学生交換、学術交流など密接な関係を築くなど、かねてより連携協力してきました。こうした連携を土台に、国際高等教育連携交流モデルの確立を目指していきます。

<大学の世界展開力強化事業とは>

国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力の強化を目指し、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の短期来入校を行うアジア・米国・欧州等の大学との国際教育連携の取組を支援することを目的としています。

上智大学と南山大学が連携した中南米6カ国13大学との交換留学の促進

ブラジル(3大学)、メキシコ(4大学)、ペルー(1大学)、チリ(1大学)、コロンビア(2大学)、アルゼンチン(2大学)の6カ国(13大学)については3カ国6大学において、現地の短期プログラムを含む語学教育をはじめ、スペイン語、ポルトガル語、または英語による専門科目の履修(留学生と日本人学生がともに学ぶ共通科目)、あわせて現地日系企業等での海外インターンや日本語教育ボランティア活動等を組み込みます。また、南米での短期スタディツアーでは、日本国内でも購入として稼げる機会が多い日本人の出身社会と文化を学ぶ国際理解教育を行います。



国際社会の諸問題を地球規模の視点から解決するグローバルリーダーを育成

2017年4月開設予定の国際教養学部 国際教養学科(仮称・設置構想中)では、グローバル・スタディーズを主軸とし、それを補完するサステイナビリティー・スタディーズによって、国や地域の枠を超え、多様な価値観を重んじる国際教養教育を実施します。文化間の摩擦により生じるさまざまな問題を理解・分析しながら、その解決に向けて他者と協働し、積極的に行動できる人材を育成するために、地球規模の課題を解決するグローバルリーダーに求められる「外国語能力」「教養力」「探求力」「実践力」を養います。

留学生が日常の中で語学力を向上し、異文化を知る環境が満載

世界の国や地域から年間約200名の留学生が集うキャンパスでは、日本人学生と留学生が交流を深める施設やイベントがたびとびあります。留学生との交流を深めるために定期的に行われる「コーヒー・アワー」や留学生と日本語を学ぶ「ワールドトリップ」、日本語禁止のインターアクションスペース「ワールドプラザ」や留学生と日本人学生が共同生活する学生寮「交流会館」など、キャンパス内で語学力や異文化理解のステップアップが可能です。

<豊富な留学制度を利用して世界へ>
留学先大学の授業料が免除される交換留学をはじめとする長期留学の制度を利用し、世界中のほとんどの国・地域への留学から可能です。長期留学の他にも、授業で行った海外実習や学割独自の短期留学、全学留学生を対象とする一か月程度の海外短期留学プログラムなどがあります。



世界の大学とのさらなる連携に向けて

ラテンアメリカはブラジルやメキシコなど世界有数のカトリック教国を擁し、地域全体では4億2,500万人もの信衆(全世界のカトリック教徒の約40%)が暮らし土壌となっています。本事業で連携する13大学のうち、教皇庁直営のカトリック系大学は約半数に及びます。ラテンアメリカ地域におけるカトリック系大学の社会貢献の歴史は長く、その多くが、各国を代表する大学として、教育・研究面で高い評価を受けています。幸い、日本国内では同じくカトリック系の上智大学・上智大学短期大学部と南山大学が連携し、文部科学省の支援の下、中南米地域との間で学生の派遣・受入プログラムを促進することとなりました。学生たちが日常的に触れ合い、ともに学んでいく中で、世界共通の課題を考え解決していく力を培い、胸を張っての出会いが、一人ひとりの人生を一層豊かにすることにつながればと思っています。



南山大学
学長 尾カエル・カルメロ

http://school.js88.com/news/index?detail_no=10

今、注目のグローバル教育

武蔵野美術大学

いつの時代も美術やデザインはグローバル
国際的な舞台を目指し、ムサビからセカイへ！
「グローバル人材育成プログラム」



多彩な国際交流や海外での学びを通して、セカイで活躍する専門家を養成！

交通やインターネットの発達により社会全体のグローバル化が加速し、情報の豊かさが進む中で、アーティストやデザイナーにとっては活躍の場が広がり、海外で展覧会を開くといったことから、クリエイティブな能力を活かしたビジネスまで、様々な挑戦がこれまで以上に身近なものとなりました。

本学では、こうした世界を目指す人材をサポートする「武蔵野美術大学グローバル人材育成プログラム」を用意。美術・デザインにおける高度な専門技術と知識を活用できる様々な能力を身に付け、なおかつ、海外においてもそれらを遺憾なく発揮するために必要かつ十分な外国語力を身につけた人材を育成していきます。

世界の学びに触れよう！訪問教授による講義・国際交流プロジェクト

国内外で活躍する専門家を訪問教授として招き、講義や演習などの特別授業を開催します。ワークショップや、学科の枠を超えた合同制作・演習などの異質な試みもなされ、普段とは異なる授業で視野を広げます。

また、国際交流協定姉妹校を相手国、協定姉妹校以外にも展覧会や課外活動などのコラボレーションを実施。世界の学生たちと学ぶ機会も豊富にあります。国際交流プロジェクトは、学生が積極的に企画・参加できる環境をつくり、条件を満たせば本学の単位として認められる場合もあります。



自分のコトバで伝えよう！外国語の単位取得推進

語学教育カリキュラムを充実させるほか、語学特別クラスの設置や「DEFL TOP」「DECE P」テスト受験機会の増加、英語で行う授業など、より多くの外国語の学びの場を設けます。英語以外の語学科目も多数開講されているので、学びの幅がさらに広がります。

世界へと挑もう！海外コンペティション応募の奨励

海外での活動のきっかけとして、コンペティションへの応募を奨励します。コンペティションの案内、応募方法、取組方法などきめ細かくサポートするほか、授業内での課題化も検討していきます。また、美術・デザインに関する用語・技法などをまとめた「造形ファイル」の英語版を、学習・参照用に作成しています。



世界中の先輩が留学をサポート！アラムナイ・グローバル・サポーター

留学支援として、単位が取得できる短期かつ夏休中などの海外短期留学を奨励。海外の語学コース参加で条件を満たせば本学の単位として認められる研修を準備します。

また、海外で活躍する卒業生が、みなさんの留学や異文化交流をサポートする「アラムナイ・グローバル・サポーター」を推進。様々な海外での生活や制作で必要なたく、現地の経験豊富な先輩たちが相談に乗ってくれます。迷航先でも安心して過ごせる環境づくりを卒業生とともに築きます。